令和元年度松山市自殺対策事業（人と人をつなぐまちづくり～気づきつなぐ松山市～）





講演会　「ひきこもりを考える」

～ワークショップ「同居家族がそれぞれの問題を持つ社会的ひきこもり事例」～

松山市の自殺者数は、全国と同様に年々減少していますが、いまだ年間約100人の方が自ら尊い命を絶つという大変悲しい状況が続いています。

自殺に大きく関係するのが、精神疾患です。世界保健機関（WHO）では、自殺に至った人の90％以上に、精神疾患の可能性があったと報告しています。また、自殺の背景には複数の要因が絡み合っているとされており、支援には医療、保健、福祉、教育、産業、司法等の多職種の連携が必要です。

　この講演会は、自殺に関連する精神疾患を正しく理解するとともに、ワークショップでの事例検討を通して関係機関の連携強化を図ることを目的に開催します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **内　容** | **講　師** | **日　時** |
| 講演会「ひきこもりを考える」  ～ワークショップ「同居家族がそれぞれ  の問題を持つ社会的ひきこもり事例」～ | 和ホスピタル  有家　佳紀　医師 | 令和元年１２月１１日（水）  18：１５～2０：１５  （17：45～受付） |

　場　所：松山市保健所　６階大会議室

　　　　（松山市萱町６丁目３０－５　TEL０８９－９１１－１８１６）

　対　象：医療従事者や保健・福祉・介護等の相談従事者

　申込み：参加希望の方は、**令和元年１１月２２日（金）までに**FAX（裏面の様式）

またはお電話にてお申込みください。

　　　　　※参加希望が多い場合に限り、お断りのご連絡をさせていただくことがありますのでご了承ください。

【問合せ先】

松山市保健所　保健予防課　精神保健担当

〒790-0813　松山市萱町6丁目30-5

TEL：０８９－９１１－１８１６

FAX：０８９－９２３－６０６２

松山市自殺対策推進キャラクター「リスにん」